

けんせありぬ

今や労働組合、單に労働者のみの團結ではあり。其は金力の死ねと暖まるとして、全世産階級の團結を要す。正義人道を愛し共在共済の社会を理想とする。全人類の團結を成し給ふありぬ。吾人は此等する労働者の組合たる金力より必摺り並花と隷属の社会を生れ、労働力の組合たる労働組合の團結の中より自由と希望と幸福の新世界の成長する事也。吾人は若し労働組合を創立するに際し、吾人の意志を成し、生御一萬の市民活命及び全世労働階級の深き同情と協賛、援助と聲援すると共に吾人の目的を阻害せんとする一切の凶謀に對しては協力一致の力と必死の覚悟と決心とを以て要す。生命は吾人の生命を守護し人類最善の理想に躍進する事と道義とする。

決議 (草案)

一 吾人は相互補助の精神を以て人格の向上、短欠の補費を期す。

二 吾人は一級團結の力を以て労働者中の維持改善及一般生活の安定を圖り以て生御に全級の繁栄を期す。

三 兵隊階級及附従の銃士及び一般労働者、世産者の一級團結に努めんと共に全世労働階級と相提携し全労働階級の向上と全人類の福利増進を期す。

四 政治被害者の救済を圖り世産政党内樹立に協力す。
五 労働者階級の先とありて労働組合を理想とせ死也する事也。是を徹底的に撲滅を期す。

右決議す。

大正四年四月二十日